

# つり橋でパチリ「インスタ映え」

## 静大生が考案 自動写真撮影

### 川根本町 11月に試験運用

川根本町と静岡大の学生が連携し、同町の塩郷のつり橋に自動写真撮影システムを設置しようとする取り組み。橋を訪れる観光客に利用してもらい、町の魅力発信につなげる狙い。ふじのくに地域・大学コンソーシアムのゼミ学生等地域貢献推進事業の一環。

静岡大生らが考案したシステム「インスタ映えくん(仮)」は、つり橋の近くに設置したネットワークカメラに向かって橋の上から手を振ることで、自動でシャッターが切られ

て写真が撮影できる仕組み。カメラが人間の顔や、顔周辺の動きを認識するという。写真はスマートフォンなどからダウンロードでき、手持ちのカメラでは撮影できないダイナミックな写真が楽しめる。

6日、同大情報学部3年の村手涼雅さん、坪井祐磨さん、同大学院2年の恩田康平さんが塩郷のつり橋を訪れ、実用化に向けてカメラの設置箇所やシステムの動作などを確認した。恩田さんは「普段と環境が違う、思った通りに動かなかった。結果を踏まえて仕組みを改善していきたい」と話した。

システムは11月中旬ごろから試験運用を始める予定という。

(島田支局・土屋咲花)



カメラが認識できる距離などを確かめながら、つり橋上の写真を撮影する学生たち。川根本町の塩郷のつり橋